

令和2年度学校経営方針について

令和2年4月2日(木)

群馬県立高崎北高等学校

校訓：「未来を拓く」

教育目標

- (1) 豊かな人間性を養い、高い知性、たくましい意欲・主体的な行動を身につけ、自主自立の精神で未来を切り開いてゆこう。
- (2) 夢と感動のある体験を通し輝く個性を磨き、21世紀を自立して生きてゆく人間となろう。

ビジョン：「未来を拓く人」を育てる高崎北高校をつくる。

ミッション：生徒自ら「学びを創る学校」を目指す。

方 策：生徒自らが「学びを創り出せる授業・部活動・学校行事・クラス・委員会」を創る。

高北生に身に付けて欲しい資質・能力

- | | |
|-------|---------------------------------|
| ① 主体性 | ② コミュニケーション能力(プレゼンテーション能力) |
| ③ 探究心 | ④ チャレンジ精神(継続力) ⑤ 基礎的な知識・技能 |

学校運営方針

「基本的生活習慣の確立」、「基礎・基本の徹底」、「生徒の安全と心のケア」を基本としつつ、「令和2年度重点目標」の実現を図ります。

- (1) 基本的生活習慣の確立
 - ・あいさつ、清掃の励行、身だしなみを整える。
 - ・早めの登校(早朝登校、早朝学習を呼びかける。)
 - ・授業中の生徒指導(大きい声での始業時のあいさつ、居眠りをさせない。)
- (2) 基礎・基本の徹底
 - ・学習習慣の確立(予習、復習を徹底する。)
 - ・家庭学習時間の確保(1、2年でも3時間、3年部活引退後は6時間以上)
 - ・自習室の積極的な活用
- (3) 生徒の安全と心のケア
 - ・交通安全の推進(交通事故0)
 - ・健康管理推進
 - ・組織的な教育相談体制・家庭訪問の充実
(生徒へのきめ細やかな指導、声かけ、家庭訪問等を通して疎外感を持たせない。)

令和2年度重点目標

- 1 「主体的・対話的で深い学び」を重視した授業の充実
 - すべての年次及び授業で、主体的・対話的で深い学び(アクティブ・ラーニング)を重視した授業を推進します。
 - ・新共通テストに対応した「思考力・判断力・表現力」を身に付けさせるための教科指導等の改善を推進します。
 - ・ICT環境(プロジェクター、Wi-Fi環境、タブレット等)を整備し、積極的に活用する。
 - ・教科指導力の向上を図ります。
(授業研究週間の設定、研究授業の開催、ステップアップサポート事業)
 - ・授業の目標を明確にし、見通しを立てたり、振り返ったりする活動を重視します。
(評価のルーブリック、振り返りシートの活用等)
 - ・授業中は生徒同士で対話する機会を積極的につくり、他者の意見をよく聞き、尊重し、探究的な活動を通して深い学びにつなげます。

2 「カリキュラム・マネジメント」の視点の充実

「高崎北高校グランドデザイン2020」に基づき、生徒の主体性の育成を中心に、高北生に身に付けて欲しい資質・能力を、学校におけるすべての教育活動を通して育成します。その際、教科や学年の枠を越えて、教科横断的な視点から育成することに留意します。

また、「カリキュラム・マネジメント研修（教員研修）」等を活用し、学校におけるすべての教育活動について不断の見直しを図るとともに、「高崎北高校グランドデザイン2021」を2021年2月末までに完成し、次年度の取組につなげます。

3 「社会に開かれた教育課程」の充実

生徒が社会的課題を乗り越え、未来を切り拓いていくためには、学校が社会や世界と接点を持ちつつ、多様な人々とつながりを保ちながら学ぶことのできる、開かれた環境となることが不可欠であります。

引き続き、地域の教育力を活用するとともに、学校教育を学校内に閉じず、その目指すところを社会と共有・連携しながら実現させます。具体的には、

- ・地域の社会人や保護者、大学教授等、地域の教育力を積極的に活用します。（インターンシップ、フィールドワーク、コンクール・コンテスト・ボランティアへの参加等）
- ・高北 Web ページなどにより、学校の取組や生徒の活躍の様子などを保護者や地域の方々に積極的に情報発信します。また、PTA 活動の充実を図ります。
- ・学校評価を充実させるとともに、学校評議員等による外部評価を活用するなど、地域社会とのつながりを重視した学校づくりを推進します。

4 「あららぎプロジェクト2020【新規】」の推進

高北で既に実施している取組を、2つのプラン及び4つのトレーニングとしてまとめ、見える化し、組織的・継続的・効果的に実施することを目指します。

特に、今年度は進路指導（学力向上）とキャリア教育（あららぎ探究プラン）の両輪を、連携しながら回していくことに留意します。

具体的には、進路・あららぎ探究室の設置、進路指導体制の一層の強化、社会との接点の強化を図り、バランスの良い社会人の育成を目指します。

I 「難関大学合格プラン・大学進学ロードマップ」（進路指導・学力向上の充実）

難関大学を目指す高北生の背中を押す。大学合格までの3年間の道のりを見通す。具体的には、

- ・国公立大学100名、難関大学（北大、東北大など）合格を目指します。
- ・難関大セミナー、東北・筑波大オープンキャンパスツアー、難関大生の話を聞く会、個別添削指導など
- ・夢ナビ、スタディーサプリ、オープンキャンパス、志望校調査、文理選択、大学入試科目調べ、主体的な学習の励行、補習・学習会・学習合宿の開催、自習室の活用など

II 「あららぎ探究プラン」（探究活動の充実）

社会で活躍するために必要な資質・能力を育成するため、3年間を見通した探究型のキャリア教育を推進します。その際、自分の原点を見つめ、社会との接点を持ちつつ自らの問いを立て、探究活動を通して将来の職業につなげます。具体的には、

- ・1年次「自分を知る、学びを知る、社会を知る」（高北ナビ、未来の教室、インターンシップ、テーマ探究テーマ設定など）
- ・2年次「自ら学びたい『問い』を設定し、探究し、学びを発表する」（テーマ探究・発表、夢ナビ、フィールドワーク、コンクール・コンテスト参加など）
- ・3年次「自分を表現し『未来を拓く』」（テーマ探究論文作成、小論文指導、面接指導など）

Ⅲ「あららぎトレーニング」

i「小論文トレーニング」

大学入試や社会人として求められる生徒の論理的表現力を育成します。具体的には、

- ・読書感想文（入学前）、小論文模試（各年次）、各教科での小論文実践など

ii「手帳・メンタルトレーニング」

生徒の主体的学習を支援する。チャレンジ精神を育て、心の強さを育成します。具体的には、

- ・手帳の活用、朝 SHR 前 5 分間の手帳記入時間の設置。月 1 回程度のチェック
- ・各年次、前後期 1 回程度メンタルトレーニング講習会を開催する。
- ・希望する部活動に対し、定期的にメンタルトレーニング講習会を開催するなど

iii「英語プレゼン・即興力トレーニング」

英語 4 技能の中の「話す（英語プレゼンテーション+英語コミュニケーション）」力を伸ばし、英語 4 技能をバランスよく育成する。グローバル社会に対応した、国際感覚豊かな人材を育成します。具体的には、

- ・英語即興力トレーニング、多読・多聴、プレゼントレーニング、スピーチコンテスト等への積極的参加、英検・GTECの活用など
- ・ボストン語学研修（希望者）、香港研修（希望者）、台湾苑裡高級中学との姉妹港交流、留学生との交流会など

iv「ICT活用トレーニング」

スマートフォン、ノートパソコン、タブレット（Chromebook も含む）の活用スキルを育て、主体的な学習やプレゼンテーション能力育成を推進します。具体的には、

- ・スマートフォン、タブレット等の Wi-Fi 接続、授業での活用、
- ・調べ学習、発表資料作成、発表時の活用、Google forms Google classroom 等の活用、職員研修会など

5 文武両道の推進

学習と部活動・生徒会活動等を両立させ、文武両道を推進し、人格の向上を目指します。

- ・部活動や生徒会活動等においては、短時間で集中した活動（平日 2 時間、休日 3 時間程度）を心がけるとともに、生徒の主体性を尊重し、生徒自らが目標や活動方針・内容を互いに話し合い、協力しながら作成し、目標達成を目指します。
- ・部活動等の大会で、上位入賞を目指します。